

# 令和7年度 建設業現場代理人安全管理研修会 が開催されました。

令和8年1月28日、新川文化ホールにおいて、建設業労働災害防止協会富山県支部魚津分会（以下「建災防魚津分会」という。）主催による、建設業現場代理人安全管理研修会が開催されました。

本研修会では、建災防魚津分会長及び当署署長の挨拶の後、当署安全衛生課長が冬季災害ゼロに向けた取組を求めました。

その後、今年度、北陸地方整備局長より「安全管理優良受注者表彰」を受賞された大高建設株式会社から、砂防工事現場における労働安全衛生マネジメントシステムの運用のほか、リアルタイム気象情報閲覧システムやCIM 3次元モデルを活用した施工計画など、デジタル技術と現場力を融合した安全活動の報告が行われ、「**安全は日々の積み重ねであり、終わりのない挑戦**」であるとの認識を新たにしました。

特別講演では、安全管理士の羽賀政昭氏から、重大災害の共通点として**リスクアセスメント不足や作業計画・作業手順の不徹底**が認められるとの指摘があったほか、労働安全衛生法違反被疑事件の送検事例の説明が行われ、労働災害防止に関する事業者の責任について学びました。



本資料は次項をご覧ください。

## 【問合せ先】

魚津労働基準監督署 安全衛生課

0765-22-0579



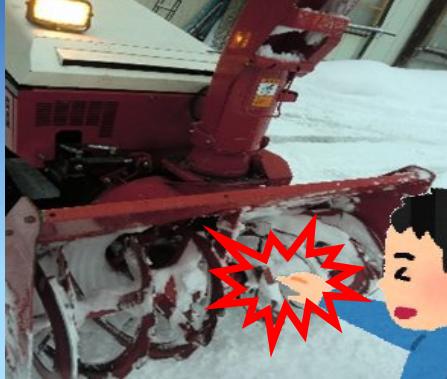
厚生労働省 富山労働局 魚津労働基準監督署

# 冬季無災害運動 **推進中！**

~ 目指そう冬季災害ゼロ ~

取組  
期間

令和7年12月1日  
～令和8年2月28日



除雪機の回転部(オガ)  
との接触

ここに  
注意！



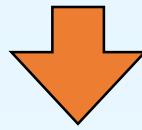
屋根除雪中の墜落



③凍結路面等での転倒



凍結路面での交通事故



こんな対策を！



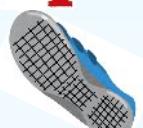
## ①接触には

- ・点検調整時はエンジンや電源をオフに！
- ・除雪エリアへの立入禁止！



## 転倒には

- ・耐滑性が高い靴の着用を！
- ・滑止めマットなどの使用を！



## 墜落には

- ・保護帽と墜落制止用器具の使用を！
- ・2名以上で作業を！



## ④交通事故には

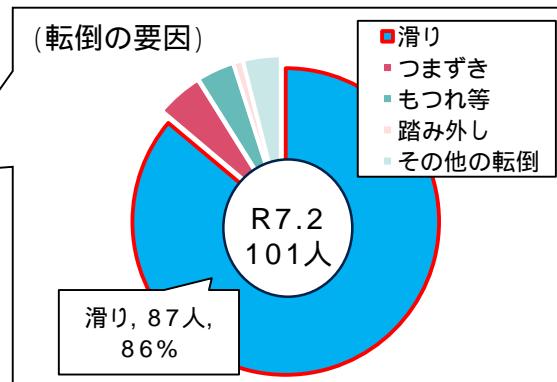
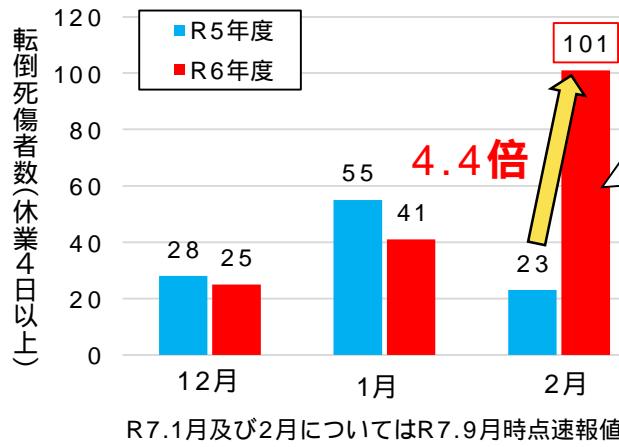
- ・冬用タイヤへの履き替えは早めに！
- ・「急」の付く運転はダメ！



新潟・富山・石川・福井・長野労働局・各労働基準監督署

富山県内では、冬季(12月～2月)に、転倒による労働災害が増加する傾向にあり、特に、強い寒波に見舞われた令和7年2月は、転倒死傷者数が対前年比4.4倍となるなど顕著に増加しました。

冬季特有の転倒リスクを再認識し、転倒災害の防止に向けて必要な対策を講じましょう。



1日で20人以上が被災している日も

Q どうして転倒災害が多い？

A: 積雪や凍結地面による「滑り」が大きな要因となっています。

最低気温が氷点下を下回る日は、特に滑りによる転倒災害が多くなっています。

対策 ➤ 気温を確認

- 天気予報で、当日や翌日の気温を確認
- 社内への注意喚起



Q どんな時間に起きている？

A: 午前6時～10時が多くなっています。

この時間帯は、多くの企業で出勤時間であるほか、除雪が不十分だったり、周囲が暗く、路面状態の確認が出来ないことが多いため、注意が必要です。

対策 ➤ 路面の見える化

- 除雪等こまめに通路整備
- ライト等の活用を推奨



Q どんなことをしている時？

A: 移動時に多く発生しています。

屋外が多いですが、室内でも濡れた靴のまま移動して被災しています。

(駐車場　事務所・店舗　作業場内)

対策 ➤ 時間に余裕を持った行動

- ポケットハンド注意
- 歩きスマホの禁止
- 建物入口にマット  
(吸水、防滑、融雪、雪落とし等を併用)



Q どんな人に多い？

A: 60代以上が6割前後を占めます。

加齢に伴う身体機能の低下が影響していると考えられます。骨折(手足、腰、頭等)を伴う場合は、休業が長期化しやすく、職場復帰に時間がかかる場合もあります。

若い人でも、低温環境下で同一姿勢を継続していると、体のこわばりのため、思うように体が動かせない場合があります。

対策 ➤ 適度なストレッチ

- 転倒予防体操の導入
- 転倒等リスクセルフチェック票の活用
- 健康管理  
(骨折のしやすさ等リスクを自覚)



厚生労働省HP